

令和5年度(2023年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第1号

発行 校長 福田 賢一

進級、新入学

おめでとうございます

— 4月10日始業式



5人の新任者を迎えた就任式の後、新2年生から6年生と始業式を行いました。校長からは「シン・伊倉ブランド」について提案しました。

シン・伊倉ブランド

シンを漢字で表すと、新、進、真、信、親、芯、清、伸、深などがあります。共通実践事項である伊倉ブランドを見直すにあたり、上記の漢字の意味を込めてシン・伊倉ブランドを提案します。

シン・伊倉ブランド

- 1 語先後礼の学校一礼
- 2 はっきり歯切れよく あいさつ・返事
- 3 整えます 言葉、姿勢、足元、身なり
- 4 無音を目指す 歩行、集合、掃除

これまで10項目あった内容を4つのフレーズに集約し、合言葉として覚えやすいように工夫してみました。各フレーズについての補足説明もしました。

— 4月11日入学式

新入学児童21人を合わせた全校児童141人と19人の教職員、総計160人で令和5年度をスタートしました。



「世界自閉症啓発デー」

～4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー、4/2～4/8は発達障害啓発週間～

今回の世界自閉症啓発デー（令和5年4月2日）実行委員会公式サイトに寄せられた文部科学大臣のメッセージの一部を以下に紹介します。

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」を昨年12月に公表し、調査結果から、学習面又は行動面で困難を示すとされた児童生徒が通常の学級に一定の割合で在籍していることが明らかになりました。この調査結果なども踏まえ、今後、児童生徒の実態を適切に把握し、必要な支援を組織的に行うための校内支援体制の充実や自らの学校で受けられる通級による指導の促進など、通常の学級に在籍する障害のある子供の支援の充実を図ってまいります。

今後も、自閉症を含む障害のある子供たちに更なる学びを充実させるとともに、障害のない子供たちや関係者に対しても、自閉症について理解を深めていくことができるよう取組を進めてまいります。

令和5年4月2日

文部科学大臣 永岡 桂子

一人でも多くの方々の正しい理解が広がり、誰もが幸せを実感できる共生社会の実現に向け、本校でも人権教育や特別支援教育に関する教育・啓発活動を推進していきます。

本校2年目の校長として学校教育目標は昨年度から引継いでいます。その達成に向け、活動内容はさらに充実させていきます。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る「地域とともにある学校」として保護者や地域の皆様のご協力のもと、教職員一丸となって精一杯尽力していく覚悟です。どうぞよろしくお願い致します。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索